

大阪大学大学院医学系研究科核医学講座・分子細胞薬理学講座共同企画シンポジウム

医用画像の新たな展開と 未来に向けた研究・教育システム

場所▶ グランフロント大阪北館タワーC8階
ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC<RoomC03+C04>

平成27年
3月1日(日)

13:00~18:00

参加費無料

事前参加申込必要
(2月20日(金)まで)

医用画像技術は、がん・認知症の早期診断、科学研究、創薬、死因究明、疫学研究など、広い分野に役立っています。

本シンポジウムでは、検査を安全かつ適切に行うための人材育成、基盤整備、日本発の検査技術の海外への普及など、この分野の未来について紹介します。

大阪大学大学院医学系研究科
分子細胞薬理学講座

倉智 嘉久

大阪大学大学院医学系研究科
核医学講座

畑澤 順

【特別講演】

医用画像の未来への期待と レギュラトリーサイエンス



井上 登美夫

日本核医学会理事長
横浜市立大学大学院医学研究科・教授

【講演】

医用画像の
これまでと進歩

畑澤 順

大阪大学大学院医学系研究科・教授

REAL WORLDでの
画像と実臨床

谷口 博克

弘善会 矢木脳神経外科病院・院長

画像診断装置の進歩と
線量マネジメント

保坂 健一

東芝メディカルシステムズ株式会社
クリニカル営業推進部

3D医用画像処理
ソフトウェアの進化と普及

清水 聡

株式会社ザイオソフト マーケティング部

創薬・開発における
イメージングCROの役割

鈴木 宏昌

株式会社マイクロン・取締役

医用画像情報処理・遠隔診断技術と
クリニカルエンジニア(臨床工学技士)の教育システム

山崎 康祥

藍野大学医療保健学部臨床工学科・准教授

医療画像の画像診断と
画像処理技術の双方を有する教育方法の重要性

長倉 俊明

大阪電気通信大学医療福祉工学部・教授

核医学画像診断の国際教育と
人材育成:現状と将来展望

渡部 直史

大阪大学大学院医学系研究科・助教

(敬称略)テーマは変更されることがあります

〈共催〉臨床研究教育支援センター医工連携部門 In-silico Human 研究会

〈後援〉一般社団法人 臨床医工情報学 コンソーシアム関西/広域大学連携事業「臨床医工学・情報学」高度人材育成教育プログラム



お申し込みは
事務局へ

核医学講座/分子細胞薬理学講座共同主催シンポジウム
「医用画像の新たな展開と未来に向けた研究・教育システム」事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 TEL:06-6879-3512 FAX:06-6879-3519
<http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/pharma2/events/symp/20150301.html>

【申込方法】jimu@pharma2.med.osaka-u.ac.jp 宛にお名前、ご勤務先、
情報交換会(18:00~/参加費2,000円)へのご出欠をお知らせください。

